

計算書類に対する注記

平成30年3月31日
特定非営利活動法人
産業クラスター研究会

1. 重要な会計方針

(1) 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金・前払金・前払費用・敷金・預り金及び未払い法人税を含めることにしている。

なお、前期末及び当期末残高は下記2項に記載する通りである。

(2) 消費税及び地方消費税の会計処理

税込み方式を採用している。

2. 次期繰越収支差額の内容は、次に通りである。

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	2,911,889	3,580,642
前払費用	41,790	41,790
未収金	0	921,807
敷金	144,360	144,360
合計	3,098,039	4,688,599
前受金	10,000	0
未払法人税等	124,500	621,628
預り金	36,162	2,293
合計	170,662	623,921
次期繰越収支差額	2,927,377	4,064,678